

ブランド再認識して奉仕に力

国際ロータリー 服部ガバナーが本社来訪

国際ロータリー(RI)第2760地区の服部ガバナーが中部経済新聞社を訪れた。永井征平社長と歓談し、新年度の国際テーマ「人類に奉仕するロータリー」と地区方針「真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」の趣旨を説明した。服部ガバナーは「ロータリアンの皆さん方には、ロ

服部ガバナーは、岩月昭佳地区幹事(岩月商店代表)、船橋茂行16-17年度地区大会実行委員長(名東電産代表取締役会長)とともに来社した。永井社長に就任のあいさつを行った後で、新年度のRI国際テーマ、地区方針などについて、次のように語った。



新年度の地区方針を語る服部ガバナー

永井 国際ロータリー第2760地区のガバナー就任、ご苦労さまです。今の心境はいかがですか。

服部 2年前に、全国の34地区の中でも輝いた地区の一つである第2760地区のガバナー候補に選ばれて、ガバナーノミニー、ガバナーエレクトとして研修を受けてきました。無事にガバナー年度がスタートできたことに、ほっとしています。また、準備をしています。

永井 国際ロータリーは、世界最大級の奉仕団体であり、各地で人道的な奉仕活動に取り組んでいます。現状はどうですか。

服部 ロータリーは、1905年にシカゴで創設以来111年目になります。182カ国に約3万5200のクラブがあり、約1200のクラブがあります。

服部 今年度のジョン・ジャームRI会長のRIテーマは「Rotary Serving Humanity」であり、日本語では「人類に奉仕するロータリー」と訳されています。

永井 各地区ではガバナー活動を取材、報道することで、ロータリーの発展を支援しています。大いに活用してください。

永井社長と対談 存在感発揮で会員拡大

3万人の会員がいますが、アメリカをはじめ先進諸国で会員数が減少しているのが現状です。日本も一時は10万人を超えていた会員が現在は8万7千人くらいまで減少しています。当地区でもかつては6千人を超えていましたが、現在は約4千8百人くらいになっています。高齢化と若い人の入会が少ないのが要因です。

永井 その対応策は、

服部 国際ロータリーでは対策として「戦略計画」を策定し、ロータリークラブの活性化に取り組んでいます。その骨子は111年続いたロータリーのブランドを再認識して、もう一度ロータリアンや地域の人々に知ってもらうことです。

永井 弊紙ではロータリー活動を取材、報道することで、ロータリーの発展を支援しています。大いに活用してください。

服部 ありがとうございます。最後に、中部経済新聞ではロータリー活動を取材、報道していただいております。感謝いたします。今後ともよろしくお願ひします。

永井 ガバナーは1年間全力疾走の激務と聞いています。ロータリーの発展のために体にも気を付けて頑張ってください。服部ガバナーの活躍を願っています。

服部 世界中のロータリアンやロータリー活動のリーダーベースである「My Rotary」がまだまだ普及していません。ぜひ、利用促進を図りたいと思っています。つまり、ロータリーのオンラインツールの活用です。また、地域の人々にロータリーのことを知っていただくために、ソーシャルメディアを積極的に活用したいと思っています。

永井 特に推進することは、

服部 地区の方針は「Be The Rotarian Find A Rotarian」真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」としました。これは、「各ロータリアンはロータリーのブランドを再認識し、自ら汗をかいて人道的奉仕活動をしなす。それが真のロータリアンであり、その活動にかかわった人々にロータリーの価値を伝え、ぜひロータリーに入会してもらいましょう」という意味を込めました。

永井 各地区ではガバナーの提唱する地区方針に基づいて活動されると聞いています。活動されると聞いています。活動されると聞いています。

服部 地区の方針は「Be The Rotarian Find A Rotarian」真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」としました。これは、「各ロータリアンはロータリーのブランドを再認識し、自ら汗をかいて人道的奉仕活動をしなす。それが真のロータリアンであり、その活動にかかわった人々にロータリーの価値を伝え、ぜひロータリーに入会してもらいましょう」という意味を込めました。

中部経済新聞社を訪れて永井社長(左端)と歓談する服部ガバナー。隣は岩月地区幹事。右端は船橋実行委員長

「高潔性」「多様性」「リーダーシップ」の提唱する地区方針に基づいて活動されると聞いています。活動されると聞いています。活動されると聞いています。